



第7次 八戸市総合計画

ひと・産業・文化が輝く 北の創造都市

第7次八戸市総合計画 令和7年度 意見書

令和7年9月30日

八戸市総合計画等推進市民委員会

< 目 次 >

I はじめに	1
II 6つの政策に対する評価及び意見の概要.....	2～ 6
III 個別の施策に対する意見.....	7～15
・政策1「ひと」を育む（子育て・教育・文化・スポーツ）	7～ 9
・政策2「経済」を回す（産業・雇用）	10～11
・政策3「暮らし」を守る（環境・防災・防犯・健康）	12～13
・政策4「ともに生きる社会」をつくる （福祉・コミュニティ・多文化共生）	14
・政策5「まち」を形づくる（都市整備・公共交通）	15
・政策6「八戸らしさ」を活かす （シティプロモーション・観光・国際交流）	16
・その他 全体的なことに関する意見	17
IV 参考	18～24
・第7次八戸市総合計画の政策体系	18～19
・令和7年市民アンケート調査結果（抜粋）	20～23
・八戸市総合計画等推進市民委員会 委員名簿	24
・審議経過	24

I はじめに

当市を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化の進行、デジタル化の進展、グリーン・循環型社会の実現に向けた取組の加速化など、これまでになく変容しており、大きな変化の時を迎えている。

また、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が引き下げられ、コロナ禍の影響が回復しつつある一方で、国際情勢等を背景とした物価・燃料価格の高騰が長期化するなどの、重要課題が山積している。

このような状況下にある中、市では、豊かで活力ある持続可能な地域社会を実現するため、令和4年3月に策定した第7次八戸市総合計画により、地域が一体となって目指す将来都市像「ひと・産業・文化が輝く北の創造都市」の実現に向け、以下の6つの政策を推進している。

- 政策1 「ひと」を育む （子育て・教育・文化・スポーツ）
- 政策2 「経済」を回す （産業・雇用）
- 政策3 「暮らし」を守る（環境・防災・防犯・健康）
- 政策4 「ともに生きる社会」をつくる（福祉・コミュニティ・多文化共生）
- 政策5 「まち」を形づくる （都市整備・公共交通）
- 政策6 「八戸らしさ」を活かす（シティプロモーション・観光・国際交流）

本委員会では、第7次八戸市総合計画の着実な推進を図るため、展開する全616事業の実施状況、施策ごとに設定された進行管理指標や市民アンケート調査の結果をもとに、6つの政策に位置付けられた55施策の進捗状況を評価した。また、今後重点的に取り組むべき事項を審議し、本意見書に取りまとめた。

本委員会の意見が、市勢の更なる発展に向けた市政運営の一助となることを期待する。

Ⅱ 6つの政策に対する評価及び意見の概要

市が提示した6政策 55 施策に対する自己評価（a～d）について、市民アンケートの集計結果、進行管理指標の動向、各個別事業の進捗状況等を基に本委員会で審議した結果、各政策の評価及び総括意見は下記のとおりである。なお、各施策の評価根拠としたデータについては、八戸市総合計画等推進市民委員会の会議資料として市のホームページに公表されていることから、本意見書では割愛する。

（評価凡例）

- ・ a：非常に順調に進んでいる
- ・ b：順調に進んでいる
- ・ c：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ・ d：順調に進んでいないため、改善の必要がある

■政策1「ひと」を育む（子育て・教育・文化・スポーツ）

政策1は「次代を担うひとを育む」と「教養・文化・スポーツを通し人生を豊かにする」の2つの方向性で構成され、8つの施策が位置づけられており、そのうち6施策については、いずれもb評価と判断したが、「結婚支援の充実」及び「高等学校教育・高等教育の充実」については、市民満足度や認知度が低い結果となったことを鑑み、c評価としている。

政策1に対する本委員会からの意見として、結婚に対するマッチング支援の取組やこどもたちに関する取組、三社大祭に関する取組等、計18件の意見を付している。

■政策2「経済」を回す（産業・雇用）

政策2は「経済的な価値を生み出す」、「販路・消費を拡大する」、「働く場と働きやすい環境をつくる」の3つの方向性で構成され、13の施策が位置づけられており、そのうち2事業については、いずれもb評価と判断したが、10施策については市民満足度の低さや進行管理指標の推移を鑑み、c評価としている。また、「労働環境の充実」については市民満足度が低く、進行管理指標が横ばいであることからd評価と判断している。

政策2に対する本委員会からの意見として、水産業に関する取組のほか、中小企業等の人材確保に向けた取組や雇用・就業に対する取組等、計12件の意見を付している。

■政策3「暮らし」を守る（環境・防災・防犯・健康）

政策3は「環境を守る」、「安全安心を守る」、「健康を守る」の3つの方向性で構成され、11の施策が位置づけられている。

「地域医療の充実」について、進行管理指標の動向及び市民満足度も高い結果となっていることを鑑み、a評価としている一方、「健康づくりの推進」は、「各種がん検

診の受診率」の進行管理指標の動向を鑑み、c評価としている。そのほかの9項目については、いずれも計画どおり順調に進んでいるとしてb評価と判断した。

政策3に対する本委員会からの意見として、循環型社会の構築に向けた取組や消防団員の確保に関する意見のほか、がんの精密検査受診率向上に資する取組等、計12件（再掲1件含む）の意見を付している。

■政策4「ともに生きる社会」をつくる（福祉・コミュニティ・多文化共生）

政策4は「支え合う地域をつくる」と「社会参加しやすい環境をつくる」の2つの方向性で構成され、10の施策が位置づけられており、そのうち6施策はb評価と判断したが、4施策については進行管理指標の推移を鑑み、c評価としている

政策4に対する本委員会からの意見として、町内会の活動に関する取組や多文化共生等、計6件の意見を付している。

■政策5「まち」を形づくる（都市整備・公共交通）

政策5は「持続可能な「まち」の基盤をつくる」と「市内外の移動手段を確保する」の2つの方向性で構成され、8つの施策が位置づけられており、8項目すべてについて、いずれもb評価と判断した。

政策5に対する本委員会からの意見として、空き家対策に関する取組や地域公共交通の維持に向けた取組等、計7件の意見を付している。

■政策6「八戸らしさ」を活かす（シティプロモーション・観光・国際交流）

政策6は「価値を高める」と「魅力を広める」の2つの方向性で構成され、5つの施策が位置づけられており、「八戸ブランドの確立」については、進行管理指標の動向及び市民満足度も高い結果となっていることを鑑み、a評価としている一方、そのほかの4項目については、いずれもb評価と判断した。

また、政策6に対する本委員会からの意見として、ブランド力の向上や情報発信力の強化等、計5件の意見を付している。

■その他

指標の設定方法などの全体的なことに関する意見として、計8件（再掲7件含む）の意見を付している。

【施策ごとの評価一覧】

政策１「ひと」を育む		
施策の方向性Ⅰ 次代を担う「ひと」を育む		
1	結婚支援の充実	c：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
2	妊娠・出産・子育て支援の充実	b：順調に進んでいる
3	就学前教育の充実	b：順調に進んでいる
4	小・中学校教育の充実	b：順調に進んでいる
5	高等学校教育・高等教育の充実	c：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
施策の方向性Ⅱ 教養・文化・スポーツを通し人生を豊かにする		
1	社会教育の充実	b：順調に進んでいる
2	文化芸術の振興	b：順調に進んでいる
3	スポーツの振興	b：順調に進んでいる
政策２「経済」を回す		
施策の方向性Ⅰ 経済的な価値を生み出す		
1	農林業の振興	b：順調に進んでいる
2	畜産業の振興	c：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
3	水産業の振興	b：順調に進んでいる
4	ものづくり産業の振興	c：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
施策の方向性Ⅱ 販路・消費を拡大する		
1	商業の振興	c：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
2	観光・スポーツビジネスの振興	c：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
3	貿易の振興	c：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
4	販路開拓の促進	c：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
施策の方向性Ⅲ 働く場と働きやすい環境をつくる		
1	企業誘致の推進	c：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
2	中小企業・小規模事業者の振興	c：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
3	創業環境の充実	c：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

	4 雇用・就業の促進	c：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
	5 労働環境の充実	d：順調に進んでいないため、改善の必要がある
政策3「暮らし」を守る		
施策の方向性Ⅰ 環境を守る		
	1 衛生的な生活環境の保全	b：順調に進んでいる
	2 自然環境の保全	b：順調に進んでいる
	3 グリーン・循環型社会の構築	b：順調に進んでいる
施策の方向性Ⅱ 安全安心を守る		
	1 地域防災の充実	b：順調に進んでいる
	2 消防・救急体制の充実	b：順調に進んでいる
	3 防犯対策の充実	b：順調に進んでいる
	4 交通安全対策の充実	b：順調に進んでいる
	5 消費生活の安心確保	b：順調に進んでいる
施策の方向性Ⅲ 健康を守る		
	1 健康づくりの推進	c：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
	2 疾病予防・重症化予防の推進	b：順調に進んでいる
	3 地域医療の充実	a：非常に順調に進んでいる
政策4「ともに生きる社会」をつくる		
施策の方向性Ⅰ 支え合う地域をつくる		
	1 地域福祉の充実	b：順調に進んでいる
	2 介護・高齢者支援の充実	b：順調に進んでいる
	3 障がい者支援の充実	b：順調に進んでいる
	4 生活保障の充実	b：順調に進んでいる
	5 コミュニティの振興	c：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
施策の方向性Ⅱ 社会参加しやすい環境をつくる		
	1 市民活動の促進	c：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
	2 高齢者の活躍促進	b：順調に進んでいる
	3 障がい者の社会参加の促進	c：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
	4 男女共同参画の推進	b：順調に進んでいる
	5 多文化共生の推進	c：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

政策5「まち」を形づくる		
施策の方向性Ⅰ 持続可能な「まち」の基盤をつくる		
1	良好な市街地の形成	b：順調に進んでいる
2	港湾・河川の整備	b：順調に進んでいる
3	道路・橋りょうの整備	b：順調に進んでいる
4	上下水道等の整備	b：順調に進んでいる
5	公園・緑地の整備	b：順調に進んでいる
6	墓地・斎場の整備	b：順調に進んでいる
施策の方向性Ⅱ 市内外の移動手段を確保する		
1	地域公共交通の維持	b：順調に進んでいる
2	広域公共交通の充実	b：順調に進んでいる
政策6「八戸らしさ」を活かす		
施策の方向性Ⅰ 価値を高める		
1	八戸ブランドの確立	a：非常に順調に進んでいる
2	史跡・名勝・文化財の保存・整備・活用	b：順調に進んでいる
施策の方向性Ⅱ 魅力を広める		
1	シティプロモーションの推進	b：順調に進んでいる
2	観光地域づくりの推進	b：順調に進んでいる
3	国際交流の促進	b：順調に進んでいる

【参考：評価分布】

評価 \ 政策	1	2	3	4	5	6	全体
a：非常に順調に進んでいる	0	0	1	0	0	1	2
b：順調に進んでいる	6	2	9	6	8	4	35
c：概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある	2	10	1	4	0	0	17
d：順調に進んでいないため、改善の必要がある	0	1	0	0	0	0	1
施策数	8	13	11	10	8	5	55

Ⅲ 個別の施策に対する意見

政策１	「ひと」を育む（政策分野：子育て・教育・文化・スポーツ）	
施策の方向性	施 策	意 見 の 内 容
Ⅰ 次代を担う「ひと」を育む	１．結婚支援の充実	１．マッチングシステム登録について結婚支援のターゲット層への周知方法のほか、入会金の負担軽減や入会時の面談方法など取組を強化する必要がある。
		２．結婚支援施策の評価は、結婚支援のターゲットになる層に対してアンケートを実施し、より効果的なデータを得る必要がある。
		３．マッチングシステムについてAIを活用することも重要であるが、加えてコーディネーターによる後押し（サポート）を行うことも効果的である。
		４．マッチングシステムの登録により、結婚だけではなく、その後の出産や子育てをする場合の恩恵が受けられるようなメリットがあれば登録促進につながるのではないかな。
	２．妊娠・出産・子育て支援の充実	５．こどもが屋内で遊べる場所が少ないことから、民間の集客力と施設、個人事業主を活用した交流機会の促進を図る必要がある。
		６．こども食堂の運営は、民間企業と協力しながら普及促進、ルール化を図っていく必要がある。
		７．市民アンケートで、一番肝心な層である女性の若年層の評価が低くなっていることから、特にターゲットとなる世代に対して評価を上げる取組が必要である。
	４．小・中学校教育の充実	８．三社大祭やえんぶりなど郷土芸能が盛んであるが、住んでいる地域によって参加が叶わないこどもたちにも参加のハードルを下げる取組を強化する必要がある。

施策の方向性	施 策	意 見 の 内 容
Ⅰ 次代を担う「ひと」を育む	4. 小・中学校教育の充実	9. 三社大祭の参加募集チラシについて、従来からの紙配布のほか、新たに親へのメール案内を追加することで、三社大祭に参加したい子どもや親、担い手不足を感じている山車組をつなげる仕組みが強化されると思われる。
		10. 三社大祭の参加募集チラシの配布だけではなく、市と地域が連携（コミュニケーション）をとりながら、子どもたちの三社大祭への参加を促す施策を検討していただきたい。
		11. 三社大祭の参加募集案内チラシについては、小・中学校のほか、幼稚園や保育園にも配布し、例えばこどもの送迎の際に親の目に触れる機会を増やすような仕掛けを検討する必要がある。
		12. 三社大祭には、子どもだけではなく親も一緒に参加することになるため、送迎場所・時間の周知のほか、送迎の負担軽減となるようなサポートも一緒に考えていく必要がある。
		13. 学校（特に体育館）の冷房設備について、子どもたちの学びの視点のほか、避難所など防災の視点を加えて検討する必要がある。
	5. 高等学校教育・高等教育の充実	14. 奨学金について、給付のみならず、政策間連携することで、地元定着等につながるような取組を政策的に検討していただきたい。
		15. 奨学金は将来、返済が必要なものという認識を強くしてもらうため奨学金の考え方について教育していく必要がある。
Ⅱ 教養・文化・スポーツを通し人生を豊かにする	1. 社会教育の充実	16. 公民館の利用制限を緩和して様々なイベントを開催できるようにしていただきたい。また、若い人が気軽に利用しやすい環境を作っていく必要がある。
		17. 大学生のボランティア活動は、単位の取得や八戸で暮らしたいと思える機会につながる可能性があるので進行管理指標にするよう検討いただきたい。

施策の方向性	施 策	意 見 の 内 容
	3. スポーツの振興	18. マルチスポーツが主流の現在は、こどもが様々なスポーツに触れ合う機会を提供する過程の中で、レスリングやスケート競技などを中心に様々なスポーツを体験できる機会、環境を創出する必要がある。

政策2

「経済」を回す（政策分野：産業・雇用）

施策の方向性	施 策	意 見 の 内 容
Ⅰ 経済的な価値を生み出す	3. 水産業の振興	19. 漁獲量が減少している中でも、今獲れるものの価値向上やレアリティを追及し、継続してブランド化していく必要がある。
		20. 漁業者、事業者が減少する中、新しく事業を始めることは敷居が高いことから、継続して経営していく事業者に対する支援を強化することが必要である。
Ⅱ 販路・消費を拡大する	2. 観光・スポーツビジネスの振興	21. 近隣自治体と連携を図りながら、合宿支援を行う必要がある。また、長期合宿となると地域経済の活性化に寄与するほか、スポーツ選手との交流を通して、スポーツ活動の普及にもつながるため、プロスポーツや学生スポーツの合宿地としてのPR活動を進めていく必要がある。
		22. 観光・スポーツビジネスの振興について、イベント誘致・受入対応等に関してはスポット開催にとどまらず、今後のリピーターに繋げるため、丁寧な対応を心掛けることが大切である。また、温暖化によりイベント企画も北での開催が増加する可能性があることから、より効果的な誘致方法を検討しながら、観光及びスポーツの両面で連携を深めていく必要がある。
	4. 販路開拓の促進	23. 海外向けの販路拡大は重要であるため、金融機関や企業と連携しながら多角的な取組を強化していく必要がある。
Ⅲ 働く場と働きやすい環境をつくる	2. 中小企業・小規模事業者の振興	24. 中小企業への支援の一つで、再エネや省エネの導入は経営改善につながることから、コーディネーターを活用しながら、企業側の意識を高めていく取組が必要である。
		25. 公共交通インフラを維持するため、民間事業者と協力しながら、人手不足等の課題共有や解決を図る必要がある。

施策の方向性	施 策	意 見 の 内 容
Ⅲ 働く場と働きやすい環境をつくる	2. 中小企業・小規模事業者の振興	26. 地域の中小企業で人材が不足する中、IT導入の支援やマッチングへの取組を展開していく必要がある。また、何が課題でその課題に対してDXをどう活用していくのかわからない事業者に対して、市がサポートできる体制づくりを検討していただきたい。
		27. 補助金を有効に活用するために、補助金の申請方法のフォローを行うコーディネーターを育成する必要があるほか、補助金の制度設計の際には申請しやすい内容・スキームとする必要がある。
	4. 雇用・就業の促進	28. 学生の地元への定着を促す取組として、インターンシップなど学校側が企業など地域の大人を受け入れる取組を支援・強化する必要がある。また、インターンシップは、受入企業の負担を考慮して、ノウハウや体制づくりなどフォローしながら取組を進める必要がある。
		29. 学生は賃金のほか職種を重視している傾向にあるが、就職先（会社内）における働き方が見えにくいことから、結果企業名で判断することが多いため、地元定着を促す際に賃金の格差を解消することが難しいのであれば、幅広い職種を誘致していただきたい。
		30. 首都圏では給料も高く、家賃の全面補助を出している業種もあることから、地方でも何かしらの手当がないと今後の流出は続く。地元定着という視点も重要であるが、流入という視点も持ちながら施策展開を期待したい。

政策3

「暮らし」を守る（政策分野：環境・防災・防犯・健康）

施策の方向性	施 策	意 見 の 内 容
Ⅰ 環境を守る	3. グリーン・循環型社会の構築	31. 電動バスなどの積極導入は初期コストが高くて、国の有利な補助金の活用が期待できることから、今後、活用について検討していただきたい。
		32. 学校での再生可能エネルギーの導入や断熱化は、単にこどもの学習環境向上だけでなく光熱費の削減、災害時の避難所対策につながるため検討していただきたい。
		33. グリーン・循環型社会の構築に向けて、自転車で生活ができるような環境を整えることが重要であり、結果として、小中学生をはじめ、幅広い世代が日常的に自転車に乗っても安全な環境づくりにつながると考える。
Ⅱ 安全安心を守る	2. 消防・救急体制の充実	34. 消防団員が減少傾向にある原因は、自分自身や家族の時間を持ちたいという気持ちに対して、消防団員のメリット（地域貢献、充実感、達成感）が上回らないことが挙げられることから、活動内容の負担軽減や見直しについて、訓練等、必要な活動とのバランスを見極めながら検討する必要がある。
	4. 交通安全対策の充実	35. 進行管理指標の交通安全共済の加入率について、現金徴収や町内会加入が厳しい世の中で、指標として適さないため、新たな指標が必要である。
		36. 自転車など様々な交通ルールが厳しくなっている中で、交通安全教室は小学生のみならず、中学生・高校生や大人など多様な世代に対しても啓発活動を行っていく必要がある。
		37. 共済保険は、基本的に民間の自動車保険で付帯されている場合が多いことから、自動車保険と交通災害共済保険を合算した加入率の方が指標として適切である。

施策の方向性	施 策	意 見 の 内 容
	4. 交通安全対策の充実	38. グリーン・循環型社会の構築に向けて、自転車で生活ができるような環境を整えることが重要であり、結果として、小中学生をはじめ、幅広い世代が日常的に自転車に乗っても安全な環境づくりにつながると考える。(再掲)
	5. 消費生活の安心確保	39. 消費生活相談件数の進行管理指標について、相談に踏み出せない人も相当数いることから、相談に来た方の満足度を図る必要がある。
Ⅲ 健康を守る	2. 疾病予防・重症化予防の推進	40. 精密検査の受診率を上げるため、検査費の助成も必要な取組であるが、働く世代に合わせた受診の時間帯を設定するなど、受けない人や受けたくない人に対するアプローチを検討し、発信していく必要がある。
	3. 地域医療の充実	41. 県内3市で献血ルームがないのは八戸市だけであり、集客力が高い商業施設に献血できる環境を整えた方が効果的である。
		42. 医療従事者の確保のため、看護師等修学資金貸与事業の拡充を検討する必要がある。

政策4

「ともに生きる社会」をつくる

(政策分野：福祉・コミュニティ・多文化共生)

施策の方向性	施 策	意 見 の 内 容
Ⅰ 支え合う地域をつくる	2. 介護・高齢者支援の充実	43. 認知症になると様々な事務手続きができなくなるので、周りの家族だけではなく本人が元気な状態のうちにサポートする取組を進める必要がある。
	5. コミュニティの振興	44. 町内会加入の有無で行政サービスに差異がない中で、町内会の価値創出に向けた取組のほか、負担軽減やシステム化を市が支援しながら取り組んでいく必要がある。また、DX化に向けた交付金だけではなく、知識をつけるためやどのような形でデジタル化を進めていくかといった勉強会等も必要である。
		45. コミュニティの振興の目指す姿に対して、「市窓口での町内会加入取次件数」の指標は適さないため、違う進行管理指標を設定する必要がある。
Ⅱ 社会参加しやすい環境をつくる	2. 高齢者の活躍促進	46. 公共交通機関を有利な条件で使えることができれば、高齢者ドライバーの免許返納の機会につながることから、もっと多くの人が公共交通機関を使って生活できるような取組を検討していただきたい。
		47. 健はちプラス+やシニアはつらつポイントなどのポイント活動を統合して、市民の生活に還元できるような仕組みづくりを検討する必要がある。
Ⅱ 社会参加しやすい環境をつくる	2. 多文化共生の推進	48. 地域住民の理解や在住している外国人の暮らしやすさの向上のため、外国人が主体となる交流イベントの開催などの取組を検討していただきたい。

政策5

「まち」を形づくる（政策分野：都市整備・公共交通）

施策の方向性	施 策	意 見 の 内 容
Ⅰ 持続可能な「まち」の基盤をつくる	1. 良好な市街地の形成	49. 空き家対策について、空き家の所有者が高齢者である場合、子世代を巻き込んだアプローチが効果的である。
		50. 空き家対策の一環として、社宅としての活用や若い人が交流を持てる場としての改修が有効ではないか。
	4. 上下水道等の整備	51. 下水道事業について、事業規模に対して企業債残高が非常に高い反面、普及率は低い。新規の拡張を抑えつつ既存インフラの維持管理、適切な料金水準の設定を念頭に、現実的な計画を立てながら維持管理に取り組む必要がある。
Ⅱ 市内外の移動手段を確保する	1. 地域公共交通の維持	52. 国では輸送量や利用圏域の拡大に資する取組としてサイクルバス・サイクルトレイン導入の手引きをとりまとめていることから、当市でも地域公共交通の経営環境向上策の一つとして検討していただきたい。
		53. 運転手の確保が難しい状況下で、バスの運行は混雑時や利用者の多い路線に絞り、それ以外は民間の乗り合いタクシーなどを活用し、それらに助成金を出したほうが維持管理は安く抑えられる可能性があるため検証していただきたい。
		54. 新幹線の八戸―東京便数の確保について、八戸駅が通過駅にならないよう危機感を持つことは極めて重要であるため、行政など関係者だけでなく、市民などにも呼び掛け、市が一体となって取組を展開する必要がある。
		55. レンタサイクルは気候や地形の問題もあるが、電動自転車や電動キックボードなどの移動手段も多様化しているので、今後も他都市の取組状況を注視していただきたい。

政策6

「八戸らしさ」を活かす

(政策分野：シティプロモーション・観光・国際交流)

施策の方向性	施 策	意 見 の 内 容
Ⅰ 価値を高める	1. 八戸ブランドの確立	56. 八戸の鮮魚ブランディングプロジェクトは首都圏をターゲットにしているが、大阪には県事務所や県のアンテナショップがあるほか、三沢-伊丹便もあることから、近畿圏も視野に入れた取組の拡充を検討していただきたい。
	2. 史跡・名勝・文化財の保存・整備・活用	57. デジタル化で保存した文化財等のデータを、市内の産業文化に活かすなど別な形で整備し、活用できるようにしていただきたい。
Ⅱ 魅力を広める	1. シティプロモーションの推進	58. 当市には魅力がたくさんある中で、当市に縁がない方を呼び込むためには様々なきっかけが必要であることから、八戸圏域の魅力や関係人口の創出・拡大のほか、移住促進に係る取組をもっと発信していく必要がある。
		59. 市公式SNSの登録者数を年次で比較していくためには、純増数を指標にしたほうが良い。また、自己評価理由に記載されている内容と進行管理指標の整合性をとる必要がある。
		60. これまでの移住者数だけではなく、今後移住を検討している方がどのくらいかわかる指標をとる必要がある。また、移住政策には近隣自治体と足並みをそろえるだけではなかなか優位性を図れないため、抜きんでた政策が必要であり、八戸の特性やスポーツ環境などを魅力に感じる層へのプロモーションが必要である。

その他

全体的なことに関する意見（アンケートや指標について）

施策の方向性	施 策	意 見 の 内 容
		61. 市民アンケートの設計をもう少し考えていただきたい。1つの質問に論点が2つ以上入るのは質問として不適切である。
		62. 大学生のボランティア活動は、単位の取得や八戸で暮らしたいと思える機会につながる可能性があるので進行管理指標にするよう検討いただきたい。（再掲）
		63. 進行管理指標の交通安全共済の加入率について、現金徴収や町内会加入が厳しい世の中で、指標として適さないため、新たな指標が必要である。（再掲）
		64. 共済保険は、基本的に民間の自動車保険で付帯されている場合が多いことから、自動車保険と交通災害共済保険を合算した加入率の方が指標として適切である。（再掲）
		65. 消費生活相談件数の進行管理指標について、相談に踏み出せない人も相当数いることから、相談に来た方の満足度を図る必要がある。（再掲）
		66. コミュニティの振興の目指す姿に対して、「市窓口での町内会加入取次件数」の指標は適さないため、違う進行管理指標を設定する必要がある。（再掲）
		67. 市公式SNSの登録者数を年次で比較していくためには、純増数を指標にしたほうが良い。また、自己評価理由に記載されている内容と進行管理指標の整合性をとる必要がある。（再掲）
		68. これまでの移住者数だけではなく、今後移住を検討している方がどのくらいかわかる指標をとる必要がある。（再掲）

IV 参 考

第7次八戸市総合計画の政策体系

政策	施策の方向性	施 策
政策1 「ひと」を育む (子育て・教育・文化・スポーツ)	Ⅰ 次代を担う「ひと」を育む	1. 結婚支援の充実
		2. 妊娠・出産・子育て支援の充実
		3. 就学前教育の充実
		4. 小・中学校教育の充実
		5. 高等学校教育・高等教育の充実
	Ⅱ 教養・文化・スポーツを通し人生を豊かにする	1. 社会教育の充実
		2. 文化芸術の振興
		3. スポーツの振興
政策2 「経済」を回す (産業・雇用)	Ⅰ 経済的な価値を生み出す	1. 農林業の振興
		2. 畜産業の振興
		3. 水産業の振興
		4. ものづくり産業の振興
	Ⅱ 販路・消費を拡大する	1. 商業の振興
		2. 観光・スポーツビジネスの振興
		3. 貿易の振興
		4. 販路開拓の促進
	Ⅲ 働く場と働きやすい環境をつくる	1. 企業誘致の推進
		2. 中小企業・小規模事業者の振興
		3. 創業環境の充実
		4. 雇用・就業の促進
		5. 労働環境の充実
政策3 「暮らし」を守る (環境・防災・防犯・健康)	Ⅰ 環境を守る	1. 衛生的な生活環境の保全
		2. 自然環境の保全
		3. グリーン・循環型社会の構築
	Ⅱ 安全安心を守る	1. 地域防災の充実
		2. 消防・救急体制の充実
		3. 防犯対策の充実
		4. 交通安全対策の充実
		5. 消費生活の安心確保
	Ⅲ 健康を守る	1. 健康づくりの推進
		2. 疾病予防・重症化予防の推進
		3. 地域医療の充実

政策	施策の方向性	施 策
政策4 「ともに生きる社会」 をつくる (福祉・コミュニティ ・多文化共生)	Ⅰ 支え合う地域をつくる	1. 地域福祉の充実
		2. 介護・高齢者支援の充実
		3. 障がい者支援の充実
		4. 生活保障の充実
		5. コミュニティの振興
	Ⅱ 社会参加しやすい環境 をつくる	1. 市民活動の促進
		2. 高齢者の活躍促進
		3. 障がい者の社会参加の促進
		4. 男女共同参画の推進
		5. 多文化共生の推進
政策5 「まち」を形づくる (都市整備・公共交通)	Ⅰ 持続可能な「まち」の 基盤をつくる	1. 良好な市街地の形成
		2. 港湾・河川の整備
		3. 道路・橋りょうの整備
		4. 上下水道等の整備
		5. 公園・緑地の整備
		6. 墓地・斎場の整備
	Ⅱ 市内外の移動手段を 確保する	1. 地域公共交通の維持
		2. 広域公共交通の充実
政策6 「八戸らしさ」を活かす (シティプロモーション ・観光・国際交流)	Ⅰ 価値を高める	1. 八戸ブランドの確立
		2. 史跡・名勝・文化財の保存・ 整備・活用
	Ⅱ 魅力を広める	1. シティプロモーションの推進
		2. 観光地域づくりの推進
		3. 国際交流の促進

令和7年市民アンケート調査結果（抜粋）

①施策別満足度（満足度の高い順）

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた『満足度』は、「地域医療の充実」が最も高く、次いで「八戸ブランドの確立」となっている。

順位	前回比較	前回順位	施策No.	施策名	十分満たされている	まあまあ満たされている	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	分からない又は判断できない	無回答	満足度	前回値	差分
1	→	1	32	地域医療の充実							76.1	81.6	-5.5
2	↑	5	51	八戸ブランドの確立							74.3	71.3	3.0
3	↓	2	46	上下水道等の整備							72.6	74.9	-2.3
4	→	4	26	消防・救急体制の充実							70.6	72.2	-1.6
5	↓	3	31	疾病予防・重症化予防の推進							69.1	73.5	-4.4
6	↑	7	22	衛生的な生活環境の保全							62.8	63.7	-0.9
7	↑	8	47	公園・緑地の整備							62.5	61.2	1.3
8	↑	10	45	道路・橋りょうの整備							62.2	57.8	4.4
9	↓	6	48	墓地・斎場の整備							62.1	69.0	-6.9
10	↓	9	23	自然環境の保全							58.2	59.5	-1.3
11	→	11	52	史跡・名勝・文化財の保存・整備・活用							54.1	56.2	-2.1
12	↑	20	25	地域防災の充実							51.0	46.5	4.5
13	↑	14	24	グリーン・循環型社会の構築							49.1	50.0	-0.9
14	↑	19	43	良好な市街地の形成							48.7	46.8	1.9
15	↑	22	28	交通安全対策の充実							47.9	44.4	3.5
16	↑	18	44	港湾・河川の整備							46.4	46.9	-0.5
17	↓	16	9	農林業の振興							46.1	47.5	-1.4
18	↓	13	50	広域公共交通の充実							45.4	51.0	-5.6
19	↓	15	30	健康づくりの推進							45.3	48.6	-3.3
20	↓	17	34	介護・高齢者支援の充実							43.6	47.3	-3.7
21	↓	12	49	地域公共交通の維持							43.4	51.1	-7.7
22	↓	21	33	地域福祉の充実							42.8	44.9	-2.1
23	↑	24	7	文化芸術の振興							40.7	40.4	0.3
24	↑	30	11	水産業の振興							39.8	37.2	2.6
25	↓	23	14	観光・スポーツビジネスの振興							37.7	42.8	-5.1
26	→	26	8	スポーツの振興							37.4	39.0	-1.6
27	↓	25	37	コミュニティの振興							36.4	40.3	-3.9
28	↑	31	4	小・中学校教育の充実							36.0	36.9	-0.9
29	↓	27	54	観光地域づくりの推進							35.9	37.6	-1.7
30	↓	28	13	商業の振興							33.2	37.4	-4.2
31	↓	28	35	障がい者支援の充実							31.5	37.4	-5.9
32	↑	40	39	高齢者の活躍促進							30.0	31.2	-1.2
33	↑	37	38	市民活動の促進							29.7	32.8	-3.1
34	↑	35	10	畜産業の振興							29.5	33.3	-3.8
35	↓	34	6	社会教育の充実							29.1	33.6	-4.5
36	↓	33	36	生活保障の充実							28.6	33.9	-5.3
37	↑	42	2	妊娠・出産・子育て支援の充実							28.5	31.0	-2.5
37	↓	36	15	貿易の振興							28.5	33.2	-4.7
37	↑	40	41	男女共同参画の推進							28.5	31.2	-2.7
40	↓	32	29	消費生活の安心確保							28.4	35.8	-7.4
41	↑	44	27	防犯対策の充実							27.3	30.5	-3.2
42	↑	45	16	販路開拓の促進							27.1	30.2	-3.1
43	↑	46	42	多文化共生の推進							26.7	29.9	-3.2
44	↓	38	3	就学前教育の充実							26.6	32.0	-5.4
45	↓	39	12	ものづくり産業の振興							26.5	31.6	-5.1
46	↓	43	40	障がい者の社会参加の促進							24.5	30.6	-6.1
47	→	47	5	高等学校教育・高等教育の充実							23.2	28.1	-4.9
47	↑	49	53	シティプロモーションの推進							23.2	27.2	-4.0
49	↓	48	55	国際交流の促進							22.9	27.3	-4.4
50	→	50	17	企業誘致の推進							20.6	24.2	-3.6
51	↑	53	20	雇用・就業の促進							17.5	18.4	-0.9
52	↓	51	18	中小企業・小規模事業者の振興							13.8	21.2	-7.4
53	↑	54	21	労働環境の充実							13.4	17.5	-4.1
54	↓	51	19	創業環境の充実							13.3	21.2	-7.9
55	→	55	1	結婚支援の充実							9.5	13.2	-3.7
全施策の平均満足度											38.9	41.7	-2.8

②施策別認知度

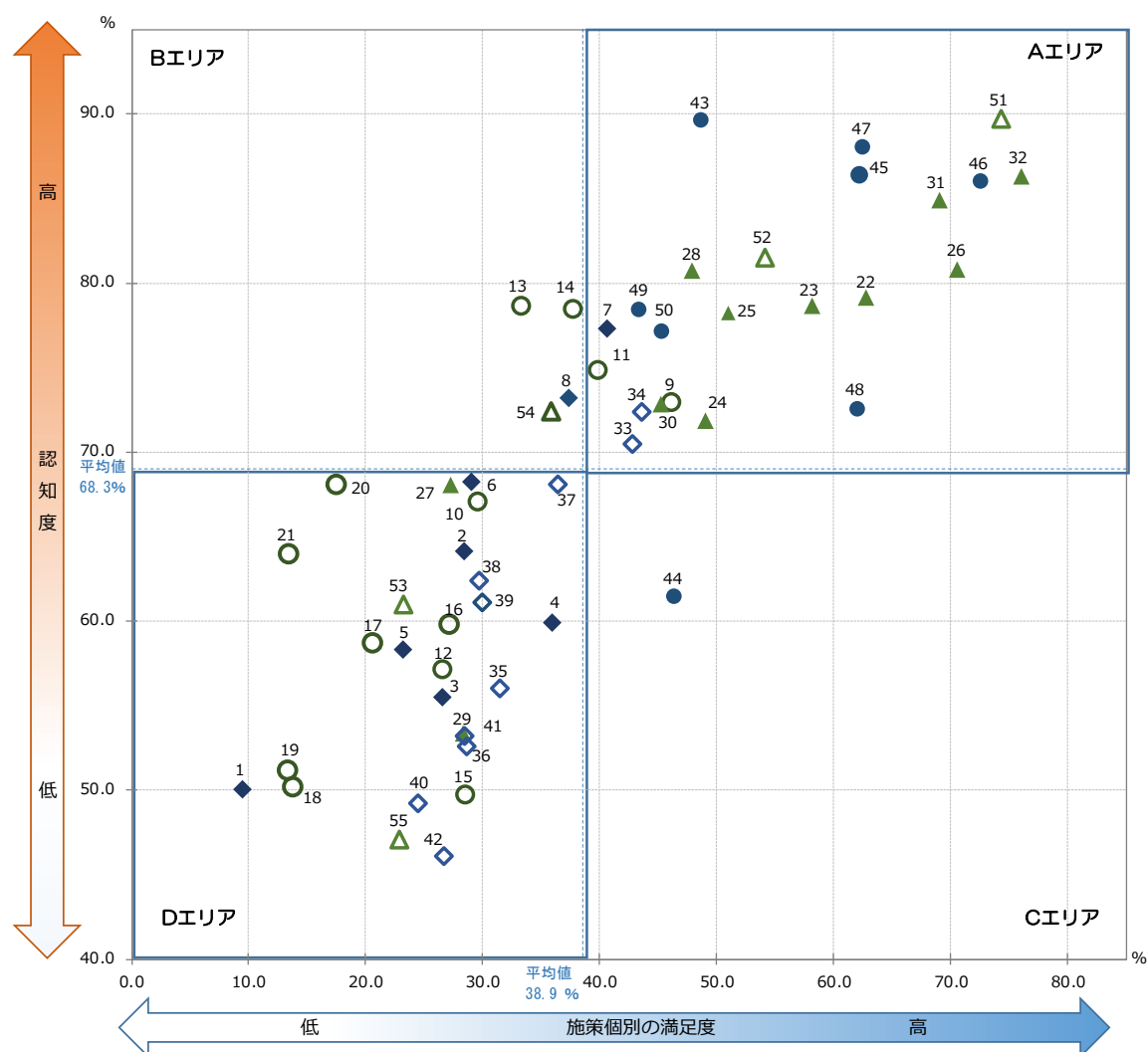
「十分満たされている」「まあまあ満たされている」「あまり満たされていない」「ほとんど満たされていない」を合わせた『認知度』は、「八戸ブランドの確立」が最も高く、次いで「良好な市街地の形成」となっている。

順位	前回 比較	前回 順位	施策 No.	施策名	認知している	分からない 又は判断できない	無回答	認知度	前回値	差分	
1	↑	2	51	八戸ブランドの確立				89.7	89.1	0.6	
2	↑	3	43	良好な市街地の形成				89.6	88.6	1.0	
3	↑	4	47	公園・緑地の整備				88.0	88.5	-0.5	
4	↑	7	45	道路・橋りょうの整備				86.4	84.7	1.7	
5	↓	1	32	地域医療の充実				86.3	89.5	-3.2	
6	↓	5	46	上下水道等の整備				86.0	87.3	-1.3	
7	↓	6	31	疾病予防・重症化予防の推進				84.9	86.7	-1.8	
8	↑	11	52	史跡・名勝・文化財の保存・整備・活用				81.5	81.4	0.1	
9	↓	8	26	消防・救急体制の充実				80.8	82.6	-1.8	
10	↑	15	28	交通安全対策の充実				80.7	79.1	1.6	
11	↑	16	22	衛生的な生活環境の保全				79.1	77.6	1.5	
12	↑	13	13	商業の振興				78.7	80.1	-1.4	
13	↑	14	23	自然環境の保全				78.6	79.3	-0.7	
14	↓	10	14	観光・スポーツビジネスの振興				78.5	81.5	-3.0	
15	↓	9	49	地域公共交通の維持				78.4	81.6	-3.2	
16	↑	21	25	地域防災の充実				78.2	75.6	2.6	
17	↓	16	7	文化芸術の振興				77.3	77.6	-0.3	
18	↓	12	50	広域公共交通の充実				77.1	80.5	-3.4	
19	↑	20	11	水産業の振興				74.9	76.2	-1.3	
20	↓	19	8	スポーツの振興				73.2	76.4	-3.2	
21	↑	24	9	農林業の振興				73.0	75.0	-2.0	
22	→	22	30	健康づくりの推進				72.8	75.5	-2.7	
23	↓	18	48	墓地・斎場の整備				72.5	77.5	-5.0	
24	→	24	34	介護・高齢者支援の充実				72.4	75.0	-2.6	
24	↓	23	54	観光地域づくりの推進				72.4	75.2	-2.8	
26	→	26	24	グリーン・循環型社会の構築				71.8	72.5	-0.7	
27	↑	28	33	地域福祉の充実				70.5	71.1	-0.6	
28	↓	27	6	社会教育の充実				68.2	71.6	-3.4	
29	↑	32	20	雇用・就業の促進				68.1	66.9	1.2	
29	→	29	37	コミュニティの振興				68.1	68.6	-0.5	
31	→	31	27	防犯対策の充実				68.0	68.5	-0.5	
32	↓	29	10	畜産業の振興				67.1	68.6	-1.5	
33	↑	34	2	妊娠・出産・子育て支援の充実				64.1	65.3	-1.2	
34	↓	33	21	労働環境の充実				64.0	65.8	-1.8	
35	↑	36	38	市民活動の促進				62.4	64.6	-2.2	
36	↑	44	44	港湾・河川の整備				61.4	61.2	0.2	
37	↑	38	39	高齢者の活躍促進				61.1	63.0	-1.9	
38	↓	35	53	シティプロモーションの推進				61.0	65.1	-4.1	
39	↑	41	4	小・中学校教育の充実				59.9	61.4	-1.5	
40	→	40	16	販路開拓の促進				59.8	62.2	-2.4	
41	→	41	17	企業誘致の推進				58.7	61.4	-2.7	
42	↓	41	5	高等学校教育・高等教育の充実				58.3	61.4	-3.1	
43	↓	37	12	ものづくり産業の振興				57.2	63.6	-6.4	
44	↓	38	35	障がい者支援の充実				56.0	63.0	-7.0	
45	↑	50	3	就学前教育の充実				55.5	56.4	-0.9	
46	→	46	29	消費生活の安心確保				53.3	58.2	-4.9	
47	↓	45	41	男女共同参画の推進				53.2	60.4	-7.2	
48	↑	49	36	生活保障の充実				52.6	57.0	-4.4	
49	↑	51	19	創業環境の充実				51.2	56.2	-5.0	
50	↓	48	18	中小企業・小規模事業者の振興				50.2	57.6	-7.4	
51	↑	55	1	結婚支援の充実				50.0	51.2	-1.2	
52	↑	53	15	貿易の振興				49.8	53.7	-3.9	
53	↓	47	40	障がい者の社会参加の促進				49.2	57.7	-8.5	
54	↓	52	55	国際交流の促進				47.1	54.3	-7.2	
55	↓	54	42	多文化共生の推進				46.1	52.2	-6.1	
					0%	25%	50%	75%	100%		
					全施策の平均認知度				68.3	70.6	-2.3

③満足度によるポジション分析

満足度および認知度が平均値を超えている「取り組みが広く知られ、その評価が高い」Aエリアには、23の施策が含まれている。

満足度および認知度が平均値を下回る「取り組みが認識されておらず、評価も低い」Dエリアには、27の施策が含まれている。



- ◆ 子育て・教育・文化・スポーツに関する分野
- 産業・雇用に関する分野
- ▲ 環境・防災・防犯・健康に関する分野
- ◇ 福祉・コミュニティ・多文化共生に関する分野
- 都市整備・公共交通に関する分野
- △ シティプロモーション・観光・国際交流に関する分野

	◆	○	▲	◇	●	△	合計
Aエリア：満足度・認知度が共に高い	1	2	9	2	7	2	23
Bエリア：満足度が低く、認知度が高い	1	2	0	0	0	1	4
Cエリア：満足度が高く、認知度が低い	0	0	0	0	1	0	1
Dエリア：満足度・認知度が共に低い	6	9	2	8	0	2	27
合計	8	13	11	10	8	5	55

※満足度：「十分満たされている」「まあまあ満たされている」の合計

認知度：「十分満たされている」「まあまあ満たされている」「あまり満たされていない」「ほとんど満たされていない」の合計

分野	項目	満足度	認知度	分野	項目	満足度	認知度
Aエリア				Cエリア			
◆	7) 文化芸術の振興	40.7%	77.3%	●	44) 港湾・河川の整備	46.4%	61.4%
○	9) 農林業の振興	46.1%	73.0%	Dエリア			
○	11) 水産業の振興	39.8%	74.9%	◆	1) 結婚支援の充実	9.5%	50.0%
▲	22) 衛生的な生活環境の保全	62.8%	79.1%	◆	2) 妊娠・出産・子育て支援の充実	28.5%	64.1%
▲	23) 自然環境の保全	58.2%	78.6%	◆	3) 就学前教育の充実	26.6%	55.5%
▲	24) グリーン・循環型社会の構築	49.1%	71.8%	◆	4) 小・中学校教育の充実	36.0%	59.9%
▲	25) 地域防災の充実	51.0%	78.2%	◆	5) 高等学校教育・高等教育の充実	23.2%	58.3%
▲	26) 消防・救急体制の充実	70.6%	80.8%	◆	6) 社会教育の充実	29.1%	68.2%
▲	28) 交通安全対策の充実	47.9%	80.7%	○	10) 畜産業の振興	29.5%	67.1%
▲	30) 健康づくりの推進	45.3%	72.8%	○	12) ものづくり産業の振興	26.5%	57.2%
▲	31) 疾病予防・重症化予防の推進	69.1%	84.9%	○	15) 貿易の振興	28.5%	49.8%
▲	32) 地域医療の充実	76.1%	86.3%	○	16) 販路開拓の促進	27.1%	59.8%
◇	33) 地域福祉の充実	42.8%	70.5%	○	17) 企業誘致の推進	20.6%	58.7%
◇	34) 介護・高齢者支援の充実	43.6%	72.4%	○	18) 中小企業・小規模事業者の振興	13.8%	50.2%
●	43) 良好な市街地の形成	48.7%	89.6%	○	19) 創業環境の充実	13.3%	51.2%
●	45) 道路・橋りょうの整備	62.2%	86.4%	○	20) 雇用・就業の促進	17.5%	68.1%
●	46) 上下水道等の整備	72.6%	86.0%	○	21) 労働環境の充実	13.4%	64.0%
●	47) 公園・緑地の整備	62.5%	88.0%	▲	27) 防犯対策の充実	27.3%	68.0%
●	48) 墓地・斎場の整備	62.1%	72.5%	▲	29) 消費生活の安心確保	28.4%	53.3%
●	49) 地域公共交通の維持	43.4%	78.4%	◇	35) 障がい者支援の充実	31.5%	56.0%
●	50) 広域公共交通の充実	45.4%	77.1%	◇	36) 生活保障の充実	28.6%	52.6%
△	51) ハブブランドの確立	74.3%	89.7%	◇	37) コミュニティの振興	36.4%	68.1%
△	52) 史跡・名勝・文化財の保存・整備・活用	54.1%	81.5%	◇	38) 市民活動の促進	29.7%	62.4%
Bエリア				◇	39) 高齢者の活躍促進	30.0%	61.1%
◆	8) スポーツの振興	37.4%	73.2%	◇	40) 障がい者の社会参加の促進	24.5%	49.2%
○	13) 商業の振興	33.2%	78.7%	◇	41) 男女共同参画の推進	28.5%	53.2%
○	14) 観光・スポーツビジネスの振興	37.7%	78.5%	◇	42) 多文化共生の推進	26.7%	46.1%
△	54) 観光地域づくりの推進	35.9%	72.4%	△	53) シティプロモーションの推進	23.2%	61.0%
				△	55) 国際交流の促進	22.9%	47.1%

八戸市総合計画等推進市民委員会 委員名簿

(五十音順、敬称略)

役 職	氏 名	所属等
	小 笠 原 圭 一	八戸 IT・テレマーケティング未来創造協議会 事務局
	織 笠 琢 磨	公募
	重 浩 一 郎	八戸工業高等専門学校 産業システム工学科 准教授
委 員 長	堤 静 子	八戸学院大学 地域経営学部 特任教授
	田 頭 初 美	全国認定こども園協会 青森県支部長
	中 村 一 明	連合青森三八地域協議会 議長
	根 城 秀 樹	八戸金融団 副会長
	松 橋 満 幸	八戸ホテル協議会 会長
	峯 敬 子	八戸商工会議所 女性会 理事
副 委 員 長	宮 腰 直 幸	八戸工業大学 感性デザイン学部 教授

審議経過

委員会	開催日	審議案件
第1回	令和7年4月22日(火)	・委嘱状交付、概要説明
第2回	令和7年5月29日(木)	・第7次八戸市総合計画の実施状況に関する審議①
第3回	令和7年6月24日(火)	・第7次八戸市総合計画の実施状況に関する審議②
第4回	令和7年7月9日(水)	・第7次八戸市総合計画の実施状況に関する審議③
第5回	令和7年7月24日(木)	・政策公約の取組状況に関する審議①
第6回	令和7年7月31日(木)	・政策公約の取組状況に関する審議②
第7回	令和7年8月19日(火)	・市長任期4年目政策公約評価書の取りまとめ
手 交	令和7年8月27日(水)	・市長任期4年目政策公約評価書の手交(市長室)
第8回	令和7年9月18日(木)	・第7次八戸市総合計画 令和7年度意見書の取りまとめ